

## iPS細胞とメディアのはなし

2011年2月18日（金） 18:00-20:00

マスメディアに出てくる科学の話。読み飛ばしたり、なんか引っかけたり、うなずいてみたり。でも、一歩引いてみると、ちょっと違った見方もできるかもしれません。今回は、そんな話を、「iPS細胞」や「再生医療」でやってみます。あと、「社会調査屋」が何を考えるのか？みたいな所も話せれば。意外と面白いかもよ。（ゲストより）

ゲスト 標葉 隆馬

京都大学大学院 生命科学研究科 生命文化学分野

日本学術振興会特別研究員（DC：科学社会学・科学技術史）

2006年京都大学農学部応用生命科学科卒業後、現所属。「科学と社会」を巡る諸相について、生命科学の事例を取り上げてその社会的側面や倫理的課題、動向や言説について研究してきた。専門は科学計量学・科学技術社会論。

会場 京都大学 吉田泉殿

＊京町家風の建物です。

＊普通の家のように見えるので、通り過ぎないようにご注意ください。

＊入り口に「京都大学吉田泉殿」という看板がかかっています。

定員 25名（要申込／先着順）

人数に余裕があれば、当日参加も可能です。



持ち物 （おなかがすく時間なので）夕ご飯をご持参ください。

主催 科学コミュニケーション研究会 関西支部有志  
加納 圭・水町 衣里 (京都大学)